



平成29年5月15日

各位

会社名 株式会社中央製作所
 代表者名 代表取締役社長 後藤 邦之
 (コード番号 6846)
 問合せ責任者 取締役総務部長 柘植 良男
 (TEL 052-821-6166)

通期業績予想と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成28年5月12日に公表いたしました平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、平成29年3月期の剰余金の配当につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●通期業績予想と実績値との差異について

平成29年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,150	35	45	27	34.83
今回実績値(B)	4,610	31	72	102	131.98
増減額(B-A)	460	△3	27	75	
増減率(%)	11.1	△10.5	61.8	278.9	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	4,732	41	62	58	75.42

平成29年3月期通期個別業績予想と実績値との差異(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,000	40	24	30.93
今回実績値(B)	4,372	54	84	108.50
増減額(B-A)	372	14	60	
増減率(%)	9.3	36.6	250.4	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	4,612	41	38	49.32

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり当期純利益金額は、前連結会計年度および前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

差異理由

当社グループは、経営目標達成に向け、積極的な営業活動を展開した結果、売上高につきましては、当初の計画より連結・個別ともに増収となりました。また、利益面につきましては売上高が増加したものの、製品機能対策や研究開発費の費用が増加したこともあり、営業利益は当初予想を下回る結果となってしまいました。一方、役員退職慰労引当金戻入を行ったことで経常利益が、さらに、保有株式の見直しを実施し、投資有価証券の売却により親会社に帰属する当期純利益及び当期純利益が、それぞれ前回公表の予想値を上回る見通しとなりました。

●剰余金の配当について

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成28年5月12日発表)	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	0.00	—	40.00	40.00
前期実績 (平成28年3月期)	—	0.00	—	2.50	2.50

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合後の基準で換算した1株当たり年間配当額は、平成28年3月期で25.00円となります。

※平成29年3月期 期末配当の内訳 普通配当 25円00銭 創立80周年記念配当 15円00銭

修正の理由

株主の皆様への利益還元につきましては、経営上の重要な政策の一つと位置付けており、経営体質の強化と今後の事業展開などを勘案し、内部留保にも意を用いつつ、安定的かつ継続的な配当を実施していくことを基本方針といたしております。

本日発表の業績予想の修正の通り、通期連結業績は平成28年5月12日に公表いたしました予想を上回る見込みとなりました。つきまして当初は、経営環境の先行きが不透明であり、業績の不確定要素も多く、配当予想を未定としておりましたが、当社の業績や財務状況などを総合的に勘案し、また当事業年度が当社の創立80周年を迎えたことから、これまで長期にわたり当社を支えていただいた株主の皆様への謝意を込めまして、普通配当1株につき25円に記念配当15円を加え40円の剰余金の配当を決議いたしました。

なお、本件につきましては、平成29年6月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

以上